

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願
いいたします。

さて、お正月といえばとんちの一休さんで知られる一休禅師の言葉
を思い出します。

「門松は冥土の旅の一里塚　めでたくもあり　めでたくもなし」

新しい年を迎えるということは、死に一步近づくとということ。正月
の何がめでたいものかと説かれました。当時は年齢を数え年として、
新年を迎える毎に一歳年をとるものでした。門松はおめでたいもので
はあるけれども、別の角度で考えるとおめでたいものでもないのです。
いつ何が起きるかわからない私たちの命だからこそ、命の在り方に
目を向け、阿弥陀さまとのご一緒の人生を歩んで参りましょう。